

「聖なる主の御名をたたえ」

(詩篇63:3)

聖なる主の御名をたたえ

ほめ歌をささげます

ちから強いイエスの御名を

たからかに歌います

あなたの恵みは いのちにもまさるゆえ

私のくちびるは あなたを賛美します

聖なる主の御名をたたえ

ほめ歌 ささげます

142 主の愛はとこしえまで

主の愛はとこしえまで

その恵みは尽きず

朝ごとにくる 新しい

あなたのまことは 力強い

新聖歌11番 「ほめたたえよ 造り主を」

- 1 ほめたたえよ 造り主を
聖きみまえに ひれ伏し
ささげまつれ 身をも魂(たま)をも
たぐいなき 御名をあがめて

- 3 恵みの神 栄えの主を
もろ声あげて たたえよ
強き手もて 導きたもう
主にのみ みさかえ 尽きざれ

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌196番 「祈れ物事」

- 1 祈れものごと 皆(みな)ままならず
胸にうれしいの 雲(くも) 閉ざすとき
* 祈れよし道は 暗くあるとも
祈れすべてを 主の手にゆだねて
- 2 祈れ ころを 静めて神の
御旨(むね)はいかにと 知りうるまでは * (くりかえし)
- 3 祈れ おのれの ことよりむしろ
他人(ひと)をとりなす 身となるまでは * (くりかえし)
- 4 祈れ みわざは かならず成(な)ると
信じて感謝を なしうるまでは * (くりかえし)

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌62番 「天(あま)つみ民も」

天(あま)つ み民も

地にある者も

父 子 御霊(みたま)の神をたたえよ

神をたたえよ

アーメン